社会福祉法人松戸市社会福祉協議会
令和８年度第１回松戸市居場所づくり全体会議要旨

１ 日　　時 令和８年４月10日(金) 午後１時30分～２時10分

２ 会　　場 松戸市社会福祉協議会 第1･2ボランティア室

３ 議　　事

1.開 会
2.委嘱状交付
3.松戸市社会福祉協議会会長挨拶
4.議 題
令和７年度「まつどDEつながるステーション」の活動費の精算について
(小金地区、東部地区、六実六高台地区、馬橋地区、明第２西地区、明第一地区、小金原地区、馬橋西地区、矢切地区、常盤平地区、新松戸地区、五香松飛台地区、常盤平団地地区)
5.その他

４ 出 席 者

(1) 出席委員(９名)

会長	小川 早苗	松戸市社会福祉協議会会長
副会長	恩田 忠治	松戸市町会･自治会連合会 会長
委員	町山 雅則	松戸市町会･自治会連合会 副会長
委員	小野 順子	松戸市民生児童委員協議会 副会長
委員	山崎 恵	特定非営利活動法人まつどNPO協議会 理事
委員	松村 大地	特定非営利活動法人まつどNPO協議会 理事
委員	中平 治	松戸市総合政策部 部長
委員	小北 真弓	松戸市市民部 部長
委員	湯浅 勝	松戸市生涯学習部 部長

(2) 出席機関(７名)
松戸市総合政策部地域共生課

(3) 事務局(８名)
松戸市社会福祉協議会

５ 議事内容

■令和７年度「まつどDEつながるステーション」の活動費の精算について
(小金地区、東部地区、六実六高台地区、馬橋地区、明第２西地区、明第一地区、小金原地区、馬橋西地区、矢切地区、常盤平地区、新松戸地区、五香松飛台地区、常盤平団地地区)

13地区の申請内容について松戸市地域共生課より一括して説明。異議なしとして承認された。

(1)小金地区

実績報告額 468,607 円 交付額 480,000 円 返納額 11,393 円

小金地区ステーション開催概要

ステーション名	小金わくわく農園
目的	農福連携をテーマに、農作業を通じて子どもから高齢者等の多世代交流の機会創出を目的とする。
開催日	令和 7 年 4 月 20 日(日)、5 月 11 日(日)、7 月 12 日(土)、8 月 3 日(日)、9 月 15 日(月)、10 月 12 日(日)、11 月 3 日(月)、12 月 7日(日)、令和 8 年 1 月 11 日(日)、3 月 15 日(日)
開催場所	本土寺参道裏農園、赤門家、殿平賀小学校、小金北市民センター
開催内容	・農作業を通じての多世代交流(種まきや草抜き等の農作物の手入れ) ・収穫イベント ・農作物について農業指導者より学びの提供 ・タウンミーティング ・小金地区および市内の各種情報提供 ・アンケートの実施
主な対象者	・小金地区在住者及び在勤、在学者
参加者人数	参加延人数 749 人　平均参加者数 74 人
運営者人数	毎回概ね 10 人程度
広報手段	チラシ配布／ポスター掲示／ＳＮＳ投稿／その他(口コミ、各実行委員の活動での告知)
実績報告額	468,607 円

(2)東部地区

実績報告額 342,229 円 交付額 480,000 円 返納額 137,771 円

東部地区ステーション開催概要

ステーション名	東部地区「まつど DE つながるステーション」
目的	ステーション活動を通じて、多世代間交流の機会を創出する。
開催日	令和 7 年 5 月 10 日(土)、6 月 28 日(土)、11 月 29 日(土)、12 月 20 日(土)、令和 8 年 1 月 10 日(土)、3 月 7 日(土)
開催場所	紙敷あんど、熊野神社、和名ケ谷集会所、高塚新田集会所、秋山集会所、東松戸ゆいの花公園
開催内容	・飲食物の提供や工作体験等を通じての多世代間交流 ・東部地区および市内の各種情報提供 ・アンケートの実施
主な対象者	・東部地区在住者及び在勤、在学者

参加者人数	参加延人数 726 人　平均参加者数 121 人
運営者人数	毎回概ね 20 人程度
広報手段	チラシ配布／ポスター掲示／ＳＮＳ投稿／その他（口コミ、各実行委員の活動での告知）
実績報告額	342,229 円

(3)六実六高台地区

実績報告額 321,638 円 交付額 480,000 円 返納額 158,362 円

六実六高台地区ステーション開催概要

ステーション名	つどうｄｅ６∞６（ツドウデロクロク）
目的	多世代間および運営者間の交流促進およびつながりづくり等を促進する。
開催日	信隆寺：令和 7 年 4 月 14 日（月）、5 月 12 日（月）、6 月 9 日（月）、7 月 14 日(月)、8 月 11 日（月）、9 月 8 日（月）、10 月 13 日（月）、令和 8 年 1 月 12 日（月）、2 月 9 日（月）、3 月 9 日（月） みんなの居場所ゑびす：令和 7 年 4 月 30 日（水）、5 月 28 日（水）、6 月 25 日（水）、7 月 30 日（水）、8 月 27 日（水）、9 月 24 日（水）、10 月 29 日（水）、11 月 26 日（水）、12 月 31 日（水）、令和 8 年 1 月 28 日（水）、2 月 25 日（水）、3 月 25 日（水） 六実市民センター：令和 7 年 5 月 9 日（金）、6 月 13 日（金）、7 月 11 日（金）、8 月 8 日（金）、9 月 12 日（金）、10 月 10 日（金）、11 月 14 日（金）、12 月 12 日（金）、令和 8 年 1 月 9 日（金）、1 月 31 日（土）、2 月 13 日（金）、3 月 13 日（金） 髙龗神社：令和 7 年 9 月 27 日（土）
開催場所	【固定型】信隆寺、みんなの居場所ゑびす、六実市民センター 【巡回型】六実市民センター、髙龗神社
開催内容	・時間と場所を固定した固定型開催で、自由に過ごせる居場所の提供 ・巡回型開催で固定型および地区内既存活動等を周知 ・六実六高台地区および市内の各種情報提供 ・アンケートの実施
主な対象者	六実六高台地区の方々および居場所運営などに関わる方々　等
参加者人数	・参加延人数 489 人　固定型 226 人　巡回型 263 人 ・平均参加者数　固定型 6 人　巡回型 131 人
運営者人数	固定型：毎回概ね 2 人程度　巡回型：毎回概ね 45 人程度
広報手段	チラシ配布／ポスター掲示／ＳＮＳ投稿／その他（口コミ、各実行委員の活動での告知）
実績報告額	321,638 円

(4)馬橋地区

実績報告額 479,182 円 交付額 480,000 円 返納額 0 円

馬橋地区ステーション開催概要

ステーション名	まばし DE エンジョイ！
目的	地域で子どもたちが交流したり、子ども同士で外遊びをする機会が減少している現代社会において、地域の子どもから高齢者までの多世代交流のきっかけづくりを進めていく。
開催日	令和 7 年 5 月 18 日（日）、8 月 31 日（土）、11 月 2 日（日）、令和 8 年 1 月 11 日（日）、2 月 22 日（日）
開催場所	馬橋東市民センター、県立松戸高等学校
開催内容	・様々な遊びを通じた多世代交流 ・農作物の収穫を通じての多世代交流 ・馬橋地区および市内の各種情報提供 ・アンケートの実施
主な対象者	・子どもとその保護者 ・地域の高齢者、中高生　等
参加者人数	参加延人数 408 人　平均参加者数 81 人
運営者人数	毎回概ね 20 人程度
広報手段	チラシ配布／ポスター掲示／ＳＮＳ投稿／その他（口コミ、各実行委員の活動での告知）
実績報告額	479,182 円

(5)明第 2 西地区

実績報告額 480,692 円 交付額 480,000 円 返納額 0 円

明第 2 西地区ステーション開催概要

ステーション名	にじいろステーション
目的	ステーション活動を通じて、多世代間交流の機会を創出する。
開催日	令和 7 年 4 月 20 日（日）、5 月 18 日（日）、6 月 15 日（日）、7 月 20 日（日）、8 月 24 日（日）、9 月 10 日（水）、9 月 21 日（日）、10 月 19 日（日）、11 月 16 日（日）、12 月 21 日（日）、令和 8 年 1 月 18 日（日）、2 月 22 日（日）、2 月 25 日（水）3 月 15 日（日）
開催場所	古ケ崎市民センター、古ケ崎本田町会集会所
開催内容	・遊びや創作活動等の体験を通じての多世代間交流 ・サロン ・明第 2 西地区および市内の各種情報提供 ・アンケートの実施
主な対象者	・明第2西地区在住者及び在勤、在学者
参加者人数	参加延人数 1,120 人　平均参加者数 80 人

運営者人数	毎回概ね 20 人程度
広報手段	チラシ配布／ポスター掲示／ＳＮＳ投稿／その他（口コミ、各実行委員の活動での告知）
実績報告額	480,692 円

(6)明第一地区

実績報告額 341,125 円 交付額 400,000 円 返納額 58,875 円

明第一地区ステーション開催概要

ステーション名	はばたけ明第一　～世代をこえて～
目的	地域の子どもから高齢者までの多世代交流のきっかけづくりを進めていく。
開催日	令和 7 年 5 月 31 日（土）、6 月 22 日（日）、10 月 12 日（日）、11 月 29 日（土）、令和 8 年 2 月 8 日（日）
開催場所	野菊野こども園、根本倶楽部、岩瀬自治会集会所、稔台市民センター、明市民センター
開催内容	・地区内の各ブロックを巡回して、子ども、保護者、高齢者向けの運動、遊び、出し物を通じて多世代交流を図る ・明第一地区および市内の各種情報提供 ・アンケートの実施
主な対象者	明第一地区在住者および在勤、在学者
参加者人数	参加延人数 294 人　平均参加者数 58 人
運営者人数	毎回概ね 20 人程度
広報手段	チラシ配布／ポスター掲示／ＳＮＳ投稿／その他（口コミ、各実行委員の活動での告知）
実績報告額	341,125 円

(7)小金原地区

実績報告額 479,908 円 交付額 480,000 円 返納額 0 円

小金原地区ステーション開催概要

ステーション名	小金原地区「まつど DE つながるステーション」
目的	ステーション活動を通じて地域への愛着を持ってもらう。
開催日	令和 7 年 4 月 26 日（土）、5 月 24 日（土）、6 月 28 日（土）、7 月 26 日（土）、8 月 23 日（土）、9 月 27 日（土）、10 月 25 日（土）、11 月 22 日（土）、12 月 27 日（土）、令和 8 年 1 月 24 日（土）、2 月 28 日（土）、3 月 28 日（土）
開催場所	小金原 7 丁目西町会会館
開催内容	・世代を問わずに集える場を通じて多世代間交流を図る ・小金原地区および市内の各種情報提供

	・アンケートの実施
主な対象者	小金原地区在住者および在勤、在学者
参加者人数	参加延人数 502 人　平均参加者数 41 人
運営者人数	毎回概ね 5 人程度
広報手段	チラシ配布／ポスター掲示／ＳＮＳ投稿／その他（口コミ、各実行委員の活動での告知）
実績報告額	479,908 円

(8)馬橋西地区

実績報告額 480,574 円 交付額 480,000 円 返納額 0 円

馬橋西地区ステーション開催概要

ステーション名	みんなでワイワイ
目的	ステーション活動を通じて、多世代間交流の機会を創出する。
開催日	令和 7 年 5 月 25 日（日）、6 月 22 日（日）、8 月 24 日（日）、9 月 28 日（日）、12 月 7 日（日）、令和 8 年 2 月 15 日（日）
開催場所	馬橋市民センター、馬橋中央町会会館、青少年会館体育館、旭町小学校
開催内容	・ユニバーサルスポーツの体験等を通した多世代間交流 ・ステーション活動の周知 ・馬橋西地区および市内の各種情報提供 ・アンケートの実施
主な対象者	馬橋西地区在住者および在勤、在学者
参加者人数	参加延人数 497 人　平均参加者数 82 人
運営者人数	毎回概ね 20 人程度
広報手段	チラシ配布／ポスター掲示／ＳＮＳ投稿／その他（口コミ、各実行委員の活動での告知）
実績報告額	480,574 円

(9)矢切地区

実績報告額 479,613 円 交付額 480,000 円 返納額 0 円

矢切地区ステーション開催概要

ステーション名	矢切地区「まつど DE つながるステーション」
目的	ステーション活動を通じて、多世代間交流の機会を創出する。
開催日	令和 7 年 6 月 14 日（土）、7 月 29 日（火）、9 月 13 日（土）、10 月 25 日（土）、12 月 21 日（日）、令和 8 年 2 月 14 日（土）
開催場所	まつど市民活動サポートセンター
開催内容	・ワークショップや茶話会等を通じての多世代間交流 ・矢切地区および市内の各種情報提供

	・アンケートの実施
主な対象者	矢切地区在住者および在勤、在学者
参加者人数	参加延人数 505 人　平均参加者数 84 人
運営者人数	毎回概ね 15 人程度
広報手段	チラシ配布／ポスター掲示／ＳＮＳ投稿／その他（口コミ、各実行委員の活動での告知）
実績報告額	479,613 円

(10)常盤平地区

実績報告額 291,651 円 交付額 480,000 円 返納額 188,349 円

常盤平地区ステーション開催概要

ステーション名	みんなDEときわ平
目的	地域の子どもから高齢者までの多世代交流のきっかけづくりを進めていく。
開催日	令和 7 年 6 月 14 日（土）、9 月 13 日（土）、10 月 11 日（土）、12 月 14 日（日）、令和 8 年1月 17 日（土）、2 月 21 日（土）
開催場所	常盤平市民センターホール、八柱市民センターホール、牧の原団地 1 街区集会所、金ケ作自治会館、八柱幼稚園
開催内容	・地区内の既存活動を周知・体験 ・喫茶コーナー ・健康、相談コーナー ・常盤平地区および市内の各種情報提供 ・アンケートの実施
主な対象者	常盤平地区在住者および在勤、在学者
参加者人数	参加延人数 723 人　平均参加者数 120 人
運営者人数	毎回概ね 10 人程度
広報手段	チラシ配布／ポスター掲示／ＳＮＳ投稿／その他（口コミ、各実行委員の活動での告知）
実績報告額	291,651 円

(11)新松戸地区

実績報告額 295,712 円 交付額 480,000 円 返納額 184,288 円

新松戸地区ステーション開催概要

ステーション名	新松戸地区「まつど DE つながるステーション」
目的	・ステーション活動を通じて多世代交流の機会を生み出すことにより、地区内で顔見知りを増やすきっかけとする。 ・新松戸地区の特色を活かしたプログラムを実践することにより、地区へのシビックプライド等を醸成するきっかけとする。

開催日	令和 7 年 5 月 24 日(土)、7 月 26 日(土)、9 月 20 日(土)、11 月 22 日(土)、令和 8 年 1 月 24 日(土)、2 月 28 日(土)
開催場所	新松戸市民センター
開催内容	・古本等の交換をきっかけとした多世代間交流 ・遊びやスポーツを通じた多世代間交流 ・カフェスペース ・新松戸地区および市内の各種情報提供 ・アンケートの実施
主な対象者	新松戸地区在住者および在勤、在学者
参加者人数	参加延人数 985 人　平均参加者数 164 人
運営者人数	毎回概ね 10 人程度
広報手段	チラシ配布／ポスター掲示／ＳＮＳ投稿／その他(口コミ、各実行委員の活動での告知)
実績報告額	295,712 円

(12)五香松飛台地区

実績報告額 479,332 円 交付額 480,000 円 返納額 0 円

五香松飛台地区ステーション開催概要

ステーション名	五香松飛台地区「まつど DE つながるステーション」
目的	ステーション活動を通じて、多世代が交流し地域への愛着・誇りを持ってもらう。
開催日	令和 7 年 6 月 1 日(日)、7 月 21 日(月)、8 月 24 日(日)、10 月 4 日(土)、12 月 20 日(土)、令和 8 年 2 月 23 日(月)
開催場所	五香公会堂、もとやま会館、泉ヶ丘会館、健康福祉会館、松飛台市民センター、五香市民センター
開催内容	・世代を問わずに集える場を提供 ・多世代間の交流を図るイベント実施 ・五香松飛台地区および市内に各種情報提供 ・アンケートの実施
主な対象者	五香松飛台地区在住者および在勤、在学者
参加者人数	参加延人数 469 人　平均参加者数 78.2 人
運営者人数	毎回概ね 10 人程度
広報手段	チラシ配布／ポスター掲示／ＳＮＳ投稿／その他(口コミ、各実行委員の活動での告知)
実績報告額	479,332 円

(13)常盤平団地地区

実績報告額 298,231 円 交付額 480,000 円 返納額 181, 769 円

常盤平団地地区ステーション開催概要

ステーション名	団地のなかま
目的	ステーション活動を通じ、地域において、多世代が交流する機会を増やす。
開催日	令和 7 年 4 月 27 日（土）、7 月 27 日（日）、11 月 29 日（土）、12 月 21 日（日）、令和 8 年 1 月 24 日（土）、2 月 14 日（土）
開催場所	常盤平市民センターホール
開催内容	・世代を問わずに集える場を提供 ・多世代間の交流を図るイベント実施 ・常盤平団地地区および市内の各種情報提供 ・アンケートの実施
主な対象者	地域の高齢者や子ども等
参加者人数	参加延人数 487 人　平均参加者数 81 人
運営者人数	毎回概ね 20 人程度
広報手段	チラシ配布／ポスター掲示／ＳＮＳ投稿／その他（口コミ、各実行委員の活動での告知）
実績報告額	298,231 円

各委員よりいただいたご質問の概要

【質問 1】

東部地区の保険料について、予算計上していたが支出はなかった。保険を掛けなかったか、違うもので使ったのか聞きたい。

また馬橋西地区の備品購入費について、予算計上してないが 90,000 円近く支出しているものがあり、予算の有効な使い方だと思った。備品はどのようなものを購入したのか。予算を余らせている地区もあり、余らせてもよいが予算の有効的な使い方があったら聞きたい。

【回答 1】

東部地区は実行委員会以外のボランティアや担い手がステーションに参加した際のボランティア行事保険として予算計上していた。ステーションに参加してもらったボランティアは既にボランティア活動保険に加入している人がほとんどであったため加入せず、支出がなかった。行事保険の加入について、実行委員会の会議で案内しているが強制はしていない。今日もらった意見を実行委員会の会議にご案内し、検討していきたい。

馬橋西地区について、松戸馬橋高等学校より学生ボランティアが毎回平均 12 名ほどの参加があり、その他ボランティアスタッフ分も考慮し、40 着ほどスタッフのオリジナルビブスを購入した。本来は備品購入費でなく、消耗品費であるのかもしれない。消耗品費に計上されていれば概ね予算どおりである。

【質問 2】

明第 2 西地区について、予算を超えた金額の充当方法と内訳を教えてほしい。

【回答 2】

予算を超えた支出は町会からの寄付を当てている。雑収入の中に町会からの寄付が含まれている。

各委員からのご感想・ご意見なし

6 その他

■多世代まるごと居場所づくり「まつど DE つながるステーション」進捗状況について

■「まつど DE つながるステーションパネル展」の開催と広報まつど市民活動特集面掲載について

松戸市地域共生課より一括して説明。

各委員からのご感想・ご意見なし

今後の予定

令和 8 年度第 2 回松戸市居場所づくり全体会議の開催

日時:令和 8 年 7 月 10 日(金) 午後 1 時 30 分～